令和８年度

学習の手引き



西東京市立田無第三中学校

１年	組	番	氏名

～目次～

はじめに ・・・ 1

学習の心構え ・・・ 1

定期考査について ・・・ 2

定期考査規定 ・・・ 3

各教科のページ

国語 ・・・ 4

社会 ・・・ 6

数学 ・・・ 8

理科 ・・・ 10

音楽 ・・・ 12

美術 ・・・ 14

保健体育 ・・・ 16

技術 ・・・ 18

家庭 ・・・ 20

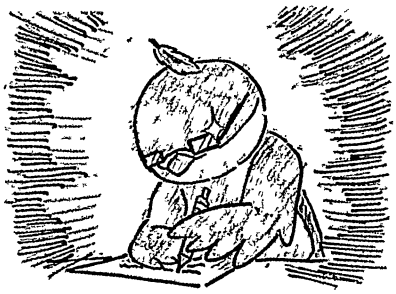
英語 ・・・ 22

はじめに

この学習の手引きは、みなさんが日々の学習をよりよく進めるためのガイドです。授業の受け方や家庭学習のポイント、定期考査に向けた取り組み方など各教科で大切にしてほしいことをまとめています。

学習は先生から教わるだけでなく、自分で考え、選び、行動することで深まります。

この手引きを参考にしながら、自分に合った学び方を見付け、主体的に学習に取り組んでいきましょう。



学習の心構え

○学びの主人公は自分

授業は「聞く時間」ではなく、「考える時間」です。
先生に教えてもらうだけでなく、自分から学び取ることを大切にしましょう。

○学びを深める５つのポイント

①わからないを大切に

- 「わからない」は成長のチャンス
- 間違えても大丈夫
- 疑問を持つことが学びのスタート

②まず自分で考える

- 予想や仮説を立てる
- 少しでも自分の考えをもつ
- すぐに答えを聞かない

③仲間と学ぶ

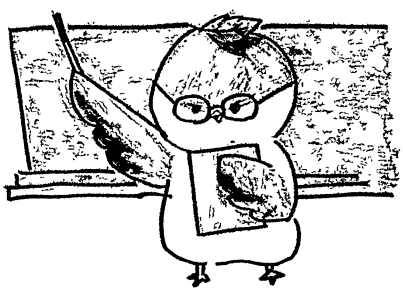
- 友達の考えを聞く
- 自分の考えを伝える
- 互いの意見を認め合う

④振り返る

- 「何がわかったか」
- 「どうやってわかったか」
  →次の学びにつなげる

⑤準備と習慣

- 忘れものをしない
- 集中できる姿勢をつくる
- 家庭学習とつなげる



○三中が大切にしている学び

- 自分の課題を見付け、解決方法を選んで、積極的に学ぶ。
- デジタルを活用するなど、意見交換することを通して、自分の学びを深める。
- 自分で学習を振り返って、学習の内容や方法を評価、改善をする。

定期考査について

定期考査の目的は、授業で学習した内容をどれだけ身に付けているのかを確認することです。また、自分の学習に取り組む姿を振り返り、目標や計画を見直したり学習方法を改善したりする機会にすることです。

定期考査は、自らの学習方法を見直し、より良い方向に改善するチャンスです。次のポイントを意識してみましょう。

定期考査を通して見直すポイント

1 学習計画を見直すこと

事前に立てた学習計画が、目標を達成するための計画であったかを振り返ります。うまくいかなかった部分があれば、時間の使い方や勉強方法を見直しして、次回に向けて、どのような学習にどのくらいの時間が効果的なのかを確認しておきましょう。

2 授業の取り組み方を見直すこと

授業に臨む姿勢について見直してみましょう。

- ○ 先生の説明や友達の発言・発表をしっかり聞いているか
- ○ 繰り返し説明や強調して指導を受けたところは何か
- ○ 授業の内容を振り返ることができるように、ノートが作られているか

3 ケアレスミスを見直すこと

テスト中の不注意なミスや計算ミスがあった場合、何が原因だったのかを振り返り、改善策を考えましょう。問題を解いた後に見直しの時間を設ける習慣を身に付けると、同じミスを防ぐことができます。

		実施日	実施教科
一学期	期末	6月17日（水） 18日（木） 19日（金）	国語・社会・数学・理科・英語 音楽・美術・保体・技家
二学期	中間	9月17日（木） 18日（金）	国語・社会・数学・理科・英語
	期末	11月11日（水） 12日（木） 13日（金）	国語・社会・数学・理科・英語 音楽・美術・保体・技家
三学期	学年末	2月22日(月)(1,2年のみ) 24日(水) 25日(木)	国語・社会・数学・理科・英語 音楽・美術・保体・技家 （1，2年のみ）

田無第三中学校　定期考査規定

1　朝学活後、机の中は空にし、鞄や机脇の荷物を教室の後ろに整理して並べる。
（鞄の口は閉める）

2　予鈴までに、出席番号順の自席に座り、静かに待つ。（トイレ等も済ませておく）

3　机上には、鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム及び、各教科で指定のある用具
（定規・コンパス等）のみ出しておく。

4　下敷きは使用しない。（机上が傷ついている場合は、申し出て使用の許可を得る）

5　解答用紙や問題用紙を配り始めたら、静かに待つ。問題用紙は解答用紙の下に入れる。

6　試験監督から試験開始の指示が出たら、最初に解答用紙に学年、学級、出席番号、
氏名を丁寧に記入する。（無記名や不明瞭だと、採点されない場合もある）

7　解答用紙が大きい場合は半分に折るなど、**周りに見えないようにする。**
カンニングなどの不正行為は絶対にしない。また、疑われるような行動もとらない。
（きょろきょろと周りを見る、話しかける、物の貸し借りをする等）
※　万が一、不正行為が発覚した場合は、原則として点数はつきません。

8　試験開始時、試験で使用するものは机上に置き、机の中には何も入れない。

9　試験中、物を落とした場合は自分で拾わず、静かに手を挙げて試験監督の指示に従う。

10　試験問題で不明な点は、教科担当が回って来たときに質問する。

11　体調が悪くなった場合は、静かに手を挙げて試験監督に申し出る。
**※万が一、試験中に途中退室する際は、試験監督にその旨を伝える。退室後の対応に
ついては、試験監督の指示を仰ぐ。**
最後まで受験できるよう、体調管理はしっかり行うこと。

12　試験終了のチャイムが鳴ったら解答を止め、速やかに筆記用具を机上に置く。

13　試験監督の指示で、一番後ろの生徒は解答用紙を出席番号順になるように回収する。
※　その他の生徒は、着席したまま静かに待つ。

14　試験監督が、回収された解答用紙の確認を行っている間は、自席にて静かに待機する。
※　解答用紙確認時間終了のチャイムと同時に解散する。

～令和3年　5月　改定～

１学年　国　語

授業の受け方

① **しっかり聞く・考える…**先生の話や友達の意見をよく聞き、自分の意見を深めよう。特に物語や説明文では、登場人物の心情や筆者の意図を考えましょう。

② **ノートを工夫して書く…**ただ黒板を写すだけではなく、大切なポイントをまとめたり、気づいたこと、考えたことなどを書き込んだりして、後で復習しやすいノートを作りましょう。

③ **積極的に発言・質問する…**わからないことをそのままにせず、質問することが大切です。また、自分の意見を発表することで、理解が深まり、考える力も鍛えられます。

家庭学習のポイント

① **漢字練習・意味調べを丁寧に…**新しく習った漢字は、ただ書くだけではなく、意味や使い方も確認しましょう。また、教科書に出てくる言葉の意味を辞書で調べて、自分の言葉でまとめると理解が深まります。

② **ノートの見直し・整理をする…**授業で書いたノートを見返し、大切な部分に線を引いたり、書き足して整理しましょう。ポイントをまとめておくと、理解が深まり、テスト勉強に役立ちます。

③ **課題や宿題にしっかり取り組む…**課題や宿題は、授業の予習・復習としてとても大切です。一言で済ますのでなく、自分の考えや意見をきちんと書くことで、国語の力が身に付きます。

定期考査に向けた取り組み方

① **プリントやノートを見直す…**授業で配られたプリントやノートには、大切なポイントが書かれています。特に、登場人物の心情や説明文の要点、流れなどは大切です。

② **漢字を確実に覚える…**漢字は覚えれば確実に点数に結びつきます。毎日コツコツ練習しましょう。教材があれば利用しましょう。何回も書いて覚えることが重要です。

③ **ワークをしっかり活用する…**ワークは一通り解きましょう。その際、記号問題も記述問題も、答えの確認だけでなく、どうしてその答えになるのか考えると実力を磨くことができます。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能…学年に応じた漢字・文法の知識、文章の理解、表現の技能を身に付いているか。	定期考査、小テスト、提出物の状況・内容
思考・判断・表現…文章を深く考える力。自分の意見を表現する力。複数の文章、意見を関連させて考える力。自分の意見を表現する力。それらが身に付いているか。	定期考査、小テスト、提出物の状況・内容
主体的に学習に取り組む態度…自分の考えをもち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。学習の見通しをもち、工夫する姿勢と、振り返りを行い、学びを深めようとしているか。	定期考査、提出物の状況、取り組む姿勢

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評方法
1	朝のリレー 野原はうたう はじまりの風 ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 空の詩 三編 比喩で広がる言葉の世界 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう 情報を聞き取り、要点を伝える 話の構成を工夫しよう 情報整理のレッスン 情報を整理して説明しよう 情報収集の達人になろう 漢字　書写　読書　文法　言葉	教科書 P６～８を参考にしましょう。	定期考査、 小テスト、 提出物の状況・内容 授業の取り組み状況
2	大人になれなかった弟たちに… 星の花が降るころに 思考のレッスン１　意見と根拠 思考のレッスン２　原因と結果 大阿蘇 古典の世界 音読を楽しむ　いろは歌 蓬萊の玉の枝-「竹取物語」 今に生きる言葉 「不便」の価値を見つめ直す 研究の現場にようこそ 項目を立てて書こう 根拠を明確にして書こう 筆者の主張に対する自分の意見を書こう 読み手の立場に立つ 聞き上手になろう 話し合い　進め方 漢字　書写　読書　文法　言葉	教科書Ｐ６～８を参考にしましょう。	定期考査、 小テスト、 提出物の状況・内容 授業の取り組み状況
3	少年の日の思い出 二十歳になった日 ぼくが　ここに 構成や描写を工夫して書こう 漢字　書写　読書　文法　言葉	教科書Ｐ６～８を参考にしましょう。	定期考査、 小テスト、 提出物の状況・内容 授業の取り組み状況

1学年　社会科

授業の受け方

①　≪第1学年社会科の学習　地理的分野・歴史的分野　とは≫

地理的分野では様々なグラフや地図などの資料を基にその地域はどのような地域なのかを捉えるような学習を、歴史的分野では様々な歴史的事象の背景や影響を踏まえ、この時代はどのような時代だったのかを捉えるような学習を行います。個別具体の社会的事象に着目するのではなく、学習内容を大きく捉え、「地域の特色」や「時代の大きな流れ」を捉えていくことが大切です。

②　≪授業や単元ごとの「学習課題」を一生懸命に追究する・1時間の学習を振り返る≫

授業ごとや単元ごとに「学習課題」を設定します。「学習課題」について調べ、自分の言葉でまとめ、説明できるようになりましょう。また、まとめの時間に“自分自身が何を理解したのか”“学習の取組はどうだったか”を振り返る時間があります。次時の学習につなげていきましょう。

家庭学習のポイント

①　【予習】≪教科書の通読≫

教科書で次の時間に扱う範囲を通読しておきましょう。授業の際におおよそゴールを知り、学習の「見通し」をもつための通読です。

②　【復習】≪ノートまとめ≫

学習の後の復習として、扱った範囲の内容を自分でノートにまとめてみるとよいでしょう。まとめの最後には学習課題について、再度記述して理解度を確認する作業を忘れずに。

定期考査に向けた取り組み方

≪自作ノートの活用→問題集の反復≫

定期考査には少なからず、社会的事象の用語の意味理解が含まれます。自作ノートや問題集を活用して定着させておきましょう。一方で、学習内容を大きく捉えていなければ分からない出題もあります。

学習評価について

評価規準	評価の方法
① 知識・技能 内容を理解するとともに、情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	○小単元・大単元ごとの課題 ○振り返りシートの記述（学習のまとめ部分） ○定期考査
② 思考・判断・表現 社会的事象を多面的・多角的に考察し、説明したり、それらを基に議論したりしているか。	○小単元・大単元ごとの課題 ○定期考査
③ 主体的に学習に取り組む態度 より良い社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしているか。	○小単元・大単元ごとの課題の達成状況 ○振り返りシートの記述（学習の振り返り部分）

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	【地理的分野】 A　世界と日本の地域構成 B　世界各地の人々の生活と環境 【歴史的分野】 A　歴史との対話 B　近世までの日本とアジア	 （1）地域構成 ①　世界の地域構成 ②　日本の地域構成 （1）世界各地の人々の生活と環境 （1）私たちと歴史 （2）身近な地域の歴史 （1）古代までの日本	①②小単元・大単元ごとの課題 ①②定期考査 ①振り返りシートの記述（学習のまとめ部分） ③小単元・大単元ごとの課題の達成状況 ③振り返りシートの記述（学習の振り返り部分）
2	【地理的分野】 B　世界各地の人々の生活と環境 【歴史的分野】 B　近世までの日本とアジア	 （2）世界の諸地域 ①オセアニア ②ヨーロッパ ③北アメリカ （2）中世の日本	①②小単元・大単元ごとの課題 ①②定期考査 ①振り返りシートの記述（学習のまとめ部分） ③小単元・大単元ごとの課題の達成状況 ③振り返りシートの記述（学習の振り返り部分）
3	【地理的分野】 B　世界各地の人々の生活と環境 【歴史的分野】 B　近世までの日本とアジア	 （2）世界の諸地域 ④南アメリカ ⑤アジア （3）近世の日本	①②小単元・大単元ごとの課題 ①②定期考査 ①振り返りシートの記述（学習のまとめ部分） ③小単元・大単元ごとの課題の達成状況 ③振り返りシートの記述（学習の振り返り部分）

１学年　数　学

授業の受け方

① 教科書・ノート・ファイル・問題集が基本の４点セットです。忘れ物がないように必ず準備をしておきましょう。また、定規やコンパスを使用する場合もあります。
② 発表時や班学習では、他の生徒の意見を聞き、自分の考えの参考にしましょう。また、いろいろな人の意見を取り入れ、自分なりの考え方を見つけていきましょう。
③ 時間のある時には、問題集を進めたり、他の人と学び合い、授業の時間を有効に活用しましょう。

家庭学習のポイント

① 授業のあった日は、教科書・ノートを見て授業の内容を確認しましょう。
② 時間に余裕のある日は問題集を進め、間違えた問題を繰り返し復習しましょう。間違えた問題こそ重要です。
③ 問題集が解き終わったら、もう一度解いてみましょう。計算のスピードを上げたい人は、計算練習に取り組みましょう。

定期考査に向けた取り組み方

① 問題集に何度も取り組みましょう。問題集は一度終わらせてからが重要です。問題集でわからなかった問題は必ず先生や友達に聞きましょう。ぜひ質問教室を活用してください。
② 計算練習をたくさんしましょう。計算力を上げることで、思考・判断・表現の問題に多くの時間を使えるようになります。
③ 余裕がある場合は授業中に扱ったプリントをもう一度解くなどしてみましょう。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 数学的な基礎的な概念や原理・法則を既習事項と関連付けて理解し、問題発見・解決の過程を自立的に遂行できる技能が身に付いているか。	定期考査の状況 小テストの状況
思考・判断・表現 論理的に考察したり、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察したり、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現する力が身に付いているか。	定期考査の状況 小テストの状況 レポートの内容
主体的に学習に取り組む態度 数学的な活動の楽しさや数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしているか	小テストの状況 レポートへの取り組み 授業・問題集の取り組みの状況 振り返りの記載内容

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	第０章　算数から数学へ	◎整数の性質	①②定期考査の状況 ①③小テストの状況
	第１章　正負の数	◎正負の数 ◎加法と減法 ◎乗法と除法 ◎正負の数の利用	①③レポートの内容 ③授業・問題集の取り組み状況 ②③振り返りの記載内容
	第２章　文字の式	◎文字を使った式 ◎文字式の計算 ◎文字式の利用	
2	第３章　方程式	◎方程式とその解き方 ◎１次方程式の利用	
	第４章　比例と反比例	◎関数と比例・反比例 ◎比例の性質と調べ方 ◎反比例の性質と調べ方 ◎比例と反比例の利用	
	第５章　平面図形	◎図形の移動 ◎基本の作図 ◎おうぎ形	
3	第６章　空間図形	◎いろいろな立体 ◎立体の見方と調べ方 ◎立体の体積と表面積	
	第７章 データの分析と活用	◎データの整理と分析 ◎データの活用 ◎ことがらの起こりやすさ	

1学年　理科

授業の受け方

① その時間の課題をや目標を意識して、学ぼうという気持ちをもって授業を受けましょう。

② みんなで意見を共有するときは自分の意見を、失敗を恐れずに積極的に発表しましょう。

③ 授業の最後には、学んだことを振り返り、わからないことがあったときは、その日のうちに友達や先生に聞きましょう。

家庭学習のポイント

① その日に学んだノートやスライドを見返し、教科書を一読しましょう。

② 余裕のある人はその日に学んだところのワークの問題に取り組みましょう。

③ 日々、復習を継続することが大切です。無理せずできる範囲で続けていきましょう。

定期考査に向けた取り組み方

① テスト範囲の教科書のページを理解するまで読み込みましょう。

② ワークは最低2回取り組みましょう。間違えた問題はわかるまで解きなおしましょう。

③ 計算に必要な公式、作図の方法、重要語句は内容を理解し、必ず覚えましょう。

学習評価について

評価規準	評価の方法
①知識・技能 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けているか。	定期テストの状況 小テスト、単元テストの状況 パフォーマンステストの状況
②思考・判断・表現 自然の事物・現象から問題を見いだし、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。	定期テストの状況 小テスト、単元テストの状況 レポートの記載内容
③主体的に学習に取り組む態度 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究しようとしているか。	振り返りの記載内容 授業の取組状況 提出物の記載内容

年間学習評価計画

理 科

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	単元２　身のまわりの物質 第１章　身のまわりの物質とその性質 第２章　気体の性質	・物の調べ方、金属と非金属、さまざまな金属の見分け方、白い粉末の見分け方 ・身のまわりの気体の性質、気体の性質と集め方	①②定期テストの状況 ①②小テスト単元テストの状況 ②③提出物の記載内容 ①パフォーマンステストの状況 ③授業の取り組み状況
2	第３章　水溶液の性質 第４章　物質の姿と状態変化 単元３　身のまわりの現象 第１章　光の世界	・物質が水にとけるようす、溶解度と再結晶 ・物質の状態変化、物質の状態変化と体積・質量の変化、状態変化が起こるときの温度とその利用 ・物の見え方、光の反射、光の屈折、レンズのはたらき	①②定期テストの状況 ①②小テスト単元テストの状況 ②③提出物の記載内容 ③授業の取り組み状況
3	第２章　音の世界 第３章　力の世界	・音の伝わり方、音の大きさや高さ ・日常生活のなかの力、力のはかり方、力の表し方、力のつり合い	①②定期テストの状況 ①②小テスト単元テストの状況 ②③提出物の記載内容 ③授業の取り組み状況

理 科

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	単元１　いろいろな生物とその共通点 第１章　生物の観察と分類のしかた 第２章　植物の分類	・生物の観察、生物の特徴と分類 ・花のつくり、果実をつくらない花、葉や根のつくり、種子をつくらない植物、さまざまな植物の分類	①②定期テストの状況 ①②小テスト単元テストの状況 ②③提出物の記載内容 ③授業の取り組み状況
2	第３章　動物の分類 単元４　大地の変化 第１章　火をふく大地	・身近な動物の分類、脊椎動物無脊椎動物、動物の分類表の作成 ・火山の姿からわかること、火山の噴火によってふき出される物、火山の活動と火成岩、火山とともにくらす	①②定期テストの状況 ①②小テスト単元テストの状況 ②③提出物の記載内容 ③授業の取り組み状況
3	第２章　動き続ける大地 第３章　地層から読みとる大地の変化	・地震のゆれの伝わり方、地震が起こるところ、地震に備えるために ・地層のなり立ち、堆積岩、地層や化石からわかること、大地の変動、身近な大地の歴史	①②定期テストの状況 ①②小テスト単元テストの状況 ②③提出物の記載内容 ③授業の取り組み状況

1学年　音楽

授業の受け方

① 音楽の授業の基本は、「聴く」ことです。音楽に耳を傾け「聴く」、先生の話を真剣に「聴く」ことです。そこから音楽の深い世界に入っていきましょう。
② 音楽について「こんな感じがするな」、「何でこう感じるのだろう？」、「こうやって表現したいな」ということを　繰り返し考えていきます。素直な考えをプリントにまとめましょう。
③ 歌を歌うときには、恥ずかしがらずに自分を表現しましょう。
④ 持ち物は、教科書2冊・コーラスフェスティバル（合唱本）、ファイル、筆記用具の5点セットです。プリントをファイルに保管する習慣をつけましょう。

家庭学習のポイント

① ジャンルを問わずいろいろな曲を聴いて心を耕してください。
折に触れ「この曲は、こういう特徴があるから、こういう気持ちになるのだな」という捉え方で音楽を聴いてみるのもお勧めです。
② 楽器を習っている人は、たくさん練習をして上達してください。
③ 音楽は“心”で感じるものです。心を耕すために、読書や映画、絵画など質の高い芸術に親しみましょう。

定期考査に向けた取り組み方

① 定期考査は学期ごとに1回ずつ、年間で3回行います。また、実技テスト（歌のテスト）を原則学期に1回行います。
② 授業で扱ったプリントを、教科書や楽譜（コーラスフェスティバル）と照らし合わせて復習してください。
③ 定期テストと日頃の授業の取り組み（プリントや実技テスト）を５：５で評価します。

学習評価について

評価規準	評価の方法
①知識・技能 曲想や音楽の構造、背景などとの関りを理解する。 音楽表現を創意工夫したり音楽の良さを味わって聴く能力を身に付ける。 音楽表現を生み出すための発声や発音などの技能を身に付ける。	日頃のプリントの記載内容 定期考査の状況 実技テストの状況
②思考・判断・表現 音楽を形づくる要素を知覚し特徴や雰囲気を感じ取る。曲の表現を工夫し自分の考えをもつ。 音楽の特徴や感じたことを自分の言葉で表す。	日頃のプリントの記載内容 定期考査の状況
③主体的に学習に取り組む態度 音楽や音楽文化に親しめるよう、音楽活動を楽しんで取り組んでいる。音楽活動に粘り強く取り組み、自己調整しながらより良い音楽を求めていこうとしている。	日頃のプリントの記載内容 授業への取り組み状況 振り返りプリントの記載内容

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	新しい仲間とともに歌声を響かせよう 鑑賞 創作 日本の民謡 （歌唱・鑑賞） 合唱コンクールの取り組み	三中校歌 夏の日の贈りもの 「春」 「ジョーズのテーマ」 音符・休符の確認 反復・変化によるリズム創作 ソーラン節 課題曲「カリブ夢の旅」 自由曲選び	・プリント ・振り返りシート ・実技テスト ・定期テスト
2	鑑賞 日本の歌（歌唱） 日本の伝統音楽 合唱コンクールの取り組み	「魔王」 赤とんぼ 箏曲「六段の調べ」 課題曲「カリブ夢の旅」 自由曲	・プリント ・振り返りシート ・実技テスト ・定期テスト
3	合唱コンクールの取り組み	課題曲「カリブ夢の旅」 自由曲	・プリント ・振り返りシート ・実技テスト

１学年 美 術

授業の受け方

① **先生が全体に話す時は前を向いて顔を上げ、静かに話を聞きましょう。**
美術の授業は制作がメインですが、話しを聞いていないと何をやるのかわからなくなってしまいます。制作中であれば一度手を止めて、しっかりと話を聞きましょう。

② **不必要な立ち歩きはしない。**
教室の前後に貸し出し用の用具を準備しています。それらを取りに行ったり、水を取り替えに行ったりすること以外で席を離れる場合は、必ず先生に声をかけてください。

③ **丁寧な制作を心掛ける。一生懸命取り組む。完成させる。**
美術の能力の一部は授業中に制作を積み重ねていくことで確実に向上します。また、素早く作業を終えれば良いというわけではありません。丁寧に、全力で取り組みましょう。

家庭学習のポイント

① **視野を広げましょう。**
美術館へ行く、画集を読む、映画を観る、音楽を聴く、読書をする、新聞を読む等、知識を身に付け視野を広げることを何かしらしてください。発想の幅が広がります。

定期考査に向けた取り組み方

① **定期考査は、観点 1(100)、観点 2(100)の 200 点中 50 点分として扱います。**
制作だけではなく、試験の点数もしっかり取れるよう勉強してください。また、『漢字で書きなさい』という問題が出る場合もあります。テスト範囲の内容は漢字まで覚えるようにしてください。

② **描く課題が出る場合もあります。**
知・技を問う問題であれば、テスト前に自分でもう一度やり方を確認し、最低 1 回は描いてみてください。思・判・表を問う問題は視野を広く持つことが大切です。『家庭学習のポイント』をヒントにし、日々、発想力を高めておきましょう。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 対象や事象を捉える造形的な視点について理解する。意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。	完成作品の状態、 その他、ワークシート・振り返り等、提出物の記載内容 ※classroom での課題を含む 定期考査の状況、授業中の取組状況
思考・判断・表現 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・創造的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方深めたりすることができるようにする。	完成作品の状態、 その他、ワークシート・振り返り等、提出物の記載内容 ※classroom での課題を含む 定期考査の状況、授業中の取組状況
主体的に学習に取り組む態度 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	完成作品の状態、 その他、ワークシート・振り返り等、提出物の記載内容 ※classroom での課題を含む 授業中の取組状況

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	[デザイン] 「応援旗のデザインをしよう」 [絵] 見つめ、感じ取り、描く 「サザエを描こう」	・目的や条件に応じた視覚的表現の工夫を学ぶ。クラスの思いや団結力が伝わる構成や色彩、形の効果を考え、計画的に制作する活動を行う。 ・形や質感、光の当たり方などの特徴を捉え、観察に基づいた表現の基礎を学ぶ。対象をよく見て描くことで、立体感や存在感のある表現を工夫する。	①②③作品 ①②③ワークシートの記載内容 ①②③classroom の記入内容 ①②定期テスト ①②③授業の取組み状況
2	[彫刻] 自然の形や色を見つめて 「サザエの模刻」	・形態や構造、質感の特徴を立体的に捉え、石塑粘土の特性を生かした表現方法を学ぶ。観察に基づき、量感やバランスを意識した造形活動を行う。	①②③作品 ①②③ワークシートの記載内容 ①②③classroom の記入内容 ①②定期テスト ①②③授業の取組み状況
3	[工芸] 気持ちを伝えるデザイン 「飛び出すカードをつくろう」	・目的や相手に応じた表現の工夫を学ぶ。形や色彩、仕組みを生かし、開いたときの効果を考えた立体的な表現活動を行う。	①②③作品 ①②③ワークシートの記載内容 ①②③classroom の記入内容 ①②定期テスト ①②③授業の取組み状況

1学年　保健体育

授業の受け方

① <u>声と身体を大きく使い、基礎体力と運動技能を高めましょう</u>

毎時間行うウォーミングアップ（集団走・体操・補強）で基礎体力をつけ、様々な運動種目の技能を高めることで、運動やスポーツを本気で楽しめるようにします。

② <u>仲間とたくさん話し合い、アドバイスし合いましょう</u>

どの運動種目においても、仲間と協力することがとても大切です。身に付けた知識をもとにお互いの運動を観察し、意見を出し合い、深めていきます。

③ <u>授業をしっかりと振り返って記述しましょう</u>

ねらいに対して、自分や仲間の取り組みはどうだったかを振り返って学習カードに書くことで、自分の考えをまとめていきます。具体的に記述することが大切です。

家庭学習のポイント

① 休日に出かけるときの移動手段は徒歩や自転車を選ぶ、エレベーターではなく階段を使うなど、「生活を運動化」「運動を生活化」する工夫をしましょう。

② テレビやインターネットの中継などで、各世代のトップレベルのスポーツを観戦しましょう。授業で行うことの延長であることがわかると、知識が深まります。

定期考査に向けた取り組み方

① 「中学体育実技」をよく読み、各運動種目の歴史や文化、特性を確認しておいてください。

② 各運動種目のルールについては、授業中の取り組み内容と併せて、「中学体育実技」に記載されている公式ルールや正式名称も確認しておいてください。

学習評価について

評価規準	評価の方法
①知識・技能 運動の楽しさや喜びを味わい、その必要性を理解し、基本的な技能を身に付けているか	授業中の取り組み状況 単元テストの状況 実技チェックの状況
②思考・判断・表現 自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝える力を身に付けているか	授業中の取り組み状況 学習カードの記載内容
③主体的に学習に取り組む態度 公正に取り組み、互いに協力し、自己の責任を果たしたり参画したりしようとしているか	授業中の取り組み状況 自律的に健康を管理している状況

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	体つくり運動 陸上競技 水泳 ○保健分野	新体力テスト ラジオ体操 短距離走・リレー クロール・平泳ぎ 健康な生活と疾病の予防	① 定期テストの状況 ② 授業中の取組状況 学習カードの記入状況 ③ 健康管理の状況 集団活動への関わり方
2	武道 球技Ⅰ ダンス 球技Ⅱ 陸上競技 ○保健分野	柔道 ベースボール型（ソフトボール） 現代的なリズムのダンス ゴール型（ハンドボール） 長距離走 心身の機能の発達と心の健康（身体機能の発達・生殖に関わる機能の成熟）	① 定期テストの状況 ② 授業中の取組状況 学習カードの記入状況 ③ 健康管理の状況 集団活動への関わり方
3	器械運動 球技Ⅲ ○保健分野 体育理論	マット運動 ネット型（バレーボール） 心身の機能の発達と心の健康（精神機能の発達と自己形成・欲求やストレスへの対処） 運動やスポーツの多様性	① 定期テストの状況 ② 授業中の取組状況 学習カードの記入状況 ③ 健康管理の状況 集団活動への関わり方

１学年　技　術

授業の受け方

① 「安全が第一優先」を心がける。

木工室・金工室にはたくさんの機械や工具が置いてあります。正しい使い方をすれば便利なものですが、使い方を誤ると大きな事故や怪我につながります。特に実習時は、安全を最優先に授業を受けるようにしましょう。

② 授業中の私語はつつしむ。

教室と違い、向かい合わせの机で授業を受けます。となりや向かいの人との距離がとても近い環境です。授業に関係のないおしゃべり等で、周りに迷惑をかけないようにしましょう。ただし、作業時は、仲間とコミュニケーションをとりながらの授業で大丈夫です。

③ 時間を守る

基本、木工室か金工室で授業を行います。教室移動となるので、チャイムが鳴った時には必ず自席に座っていることを心がけましょう。

家庭学習のポイント

① 特に家庭学習を行う必要はありません。

ものづくりや電気の知識また情報を扱い方等、学習した内容を家庭生活に生かしていきましょう。長期休業時に出題される課題は、必ず自分の力で行ってください。

定期考査に向けた取り組み方

① 授業で学習した内容が試験範囲となります。試験前にノートや配布されたプリントを中心に復習しておく。作業についての問題も出題されることもあります。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
①知識・技能 ものづくりで、材料の特徴や工具の使い方などを理解しているか。また、それらを使って使用目的にあった作品を製作できたか。	・定期考査の状況 ・授業中の取組状況 ・ノートの記載内容 ・作品の完成度
②思考・判断・表現 自らの課題を見つけ、見通しをもって作業を行い、探究して表現できているか。自分の工夫やアイディアを取り入れて作品を製作し、製作の過程や結果の評価・改善について考えているか。	・定期考査の状況 ・作品に対する工夫やアイディア状況 ・授業中の取組状況 ・ノートの記載内容 ・ワークシートの記載内容
③主体的に学習に取り組む態度 主体的に技術に関する知識技能を身に付け、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしているか。	・定期考査の状況 ・授業中の取組状況 ・ノートの記載内容 ・作品の完成度

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	・材料と加工の技術 材料の特性 丈夫な作品を作る ・情報の技術	 木材の組織名称 木材･金属等の長所短所 丈夫な構造 タブレットの使い方･ルール	③授業観察 ①②プリント(ワークシート) ②③振り返りシート ①②定期考査
2	・製品の設計・製作 材料取り 部品加工 組み立て 仕上げ(塗装)	 けがき 切断(のこぎりの使い方) かんながけ・やすりがけ けがき 下穴あけ 釘打(げんのうの使い方) ニス塗り	③授業観察 ①②プリント(ワークシート) ②③振り返りシート ①②定期考査
3	・立体の表し方と設計 等角図 正投影図 ・これからの材料と加工の技術	 製図 斜眼紙への作図 方眼紙への作図 作図作業 新しい加工技術の開発	③授業観察 ①製作作品 ①②プリント(ワークシート) ②③振り返りシート ①②定期考査

1学年　家庭科

授業の受け方

① 通常の持ち物は教科書と家庭科ノート（ワーク）、ファイルです。準備して着席しましょう。

② 学習内容をしっかりワークや配布プリントに記入し、日常生活で実践することを念頭に入れて学んでいきましょう。

③ 授業は常に誠実に取り組み、質問や発表を積極的にしていきましょう。

家庭学習のポイント

① 宿題が出たときは忘れずに。また、提出日を守りましょう。

② 教室や調理室で学んだことを家庭で実践してみて、知識・技能を確かなものにしていきましょう。

定期考査に向けた取り組み方

① 教科書、ワーク、プリントを復習し理解して、大事なところは覚えておきましょう。

② 調理実習がテスト範囲の場合、調理方法、調理過程をよく理解しておきましょう。

学習評価について

評価規準	評価の方法
①知識・技能 衣食住生活などの機能について理解し、生活の自立に必要な知識・技能が身に付いているか	定期テストの状況、　小テスト 実技テスト
②思考・判断・表現 生活の自立に必要な知識・技能を習得し、考察して的確に表現する力が身に付いているか。	ワークの記載内容、配布プリントの記載内容 定期テストの状況、授業中の取り組み状況
③主体的に学習に取り組む態度 製作や調理などの活動の楽しさを実感して根気強く取り組み、生活に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返り、評価・改善しようとしたりしているか。	実習の反省レポートの記載内容、 ワークの記載内容、配布プリントの記載内容 授業中の取り組み状況

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	1家庭分野のガイダン	1-①自立と共生を目指そう 1-②中学校家庭分野の学習を見てみる	・授業観察 ・家庭科ノート ・配布プリント
	2私たちの家族と家庭生活	2-①私たちの家族と家庭生活 2-②中学生と家族の1日の家庭生活 2-③私たちがになう家族・家庭の機能	・小テスト ・定期考査
	3食事の役割と中学生の栄養の特徴	3-①私たちの食生活 3-②栄養素の種類と働き 3-③中学生に必要な栄養	
	4中学生に必要な栄養素を満たす食事	3-①食品に含まれる栄養素 3-②6つの食品群と食品群別摂取量の目安 4-③バランスの良い献立作り	
2	5調理のための食品の選択と購入	5-①食品の選択と購入方法 5-②生鮮食品の特徴 5-③加工食品の特徴 5-④食品の保存と食中毒の防止	・授業観察 ・家庭科ノート ・配布プリント ・実習反省レポート ・実技テスト
	6日常食の調理と地域の食文化	6-①日常食の調理 6-②野菜の調理 6-③肉の調理 6-④魚の調理	・定期考査
	7持続可能な食生活	7-①持続可能な食生活を目指して	
3	8住まいの役割と安全な住まい方	8-①住まいの役割 8-②住まいと気候風土の関わり 8-③健康で快適な室内環境 8-④家族の住まいを安全・安心に 8-⑤災害への対策	・授業観察 ・家庭科ノート ・配布プリント ・定期考査
	9持続可能な住生活	9-①持続可能な住生活を目指して	

1学年　英　語

授業の受け方

① 指示された授業道具を忘れずに持ってきましょう。タブレットは充電しておきましょう。
　教科書、ファイル、ワーク、ノート、タブレットといろいろな道具を使います。
② 英語の発音やｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ活動、発表活動、ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾃｽﾄ等に、積極的に取り組みましょう。
　授業は「聞く」のではなく、「参加」することが大事です。
②　授業用ノートの予習、プリント・ワーク・英作文などの宿題をやってくると、授業の理解が進みます。

家庭学習のポイント

① 宿題をやりましょう（授業用ノートに予習など）。
② 習った単語や文は、ワークやタブレットを使い何度も練習しましょう。言えるようになったら、書けるようになりましょう。
③ Qulmee を使い、教科書の音読をしましょう。点数だけでなく、何度も練習しましょう。

定期考査に向けた取り組み方

①　教科書の単語、基本文などは、聞いたり読んだりして書けるように練習しましょう。
　教科書やワークのデジタルコンテンツなども活用しましょう
② ワークを繰り返しやりましょう。
　ワーク本体に書きこまず、付属ノートを使用して複数回取り組みましょう。
② 習った単語や文を使い、自由自在に表現できるくらいに、練習しましょう。
　教科書の単語や基本文、文法はとても重要です。繰り返し練習しましょう

学習評価について

評価・評定について

評価規準	評価の方法
① 知識・技能 文法や語彙などを理解し、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝで活用できる基礎的な技能を身に付けているか。	定期考査の状況　小テストの状況、パフォーマンステストの状況など
② 思考・判断・表現 ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを行う目的や状況などに応じて、自分の考えなどを的確に表現したり伝え合う力を身に付けているか。	定期考査の状況　授業での活動状況 パフォーマンステストの状況 英作文記載内容など
③ 主体的に学習に取り組む態度 主体的にｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを図ろうとするため、粘り強く取り組み、自分で過程を振り返ったり、振り返って評価・改善しようとしたりしているか。	単語テスト点数の状況、振り返りカード記載内容、授業用ノートなどの記載内容、パフォーマンステストの状況、授業での取り組み状況など

年間学習評価計画

学期	学習単元・題材	学習内容	主な評価方法
1	Unit 0 Unit 1 Hello, Everyone! Unit 2 Our New Teacher Unit 3 Our School Unit 4 Friends in New Zealand	クラスメートとあいさつをしたり、好きなものをたずねたり答えたりする。 be 動詞・一般動詞 He [She] is ….や助動詞 can、This [That] is …. be 動詞と一般動詞 what や who、 how や when、 where を用いた疑問文 How many …? や What＋名詞 …? の疑問文、命令文	①定期テスト 小テスト ②定期テスト パフォーマンステスト 英作文 ③振り返りカード 授業用ノート・ワーク 授業での取り組み状況
2	Unit 5 My Brother in Hawaii Unit 6 A *Rakugo* Performer from the U.K Unit 7 An Online Tour of the U.K. Unit 8 Think Globally, Act Locally	三人称単数現在形 代名詞や疑問詞 whose、which を用いた文 現在進行形 不定詞（名詞的用法）や〈look＋形容詞〉を用いた文	
3	Unit 9 Winter Vacation Unit 10 This Year’ s Memories	一般動詞の過去形 be 動詞の過去形や過去進行形、There is [are] ….を用いた文	